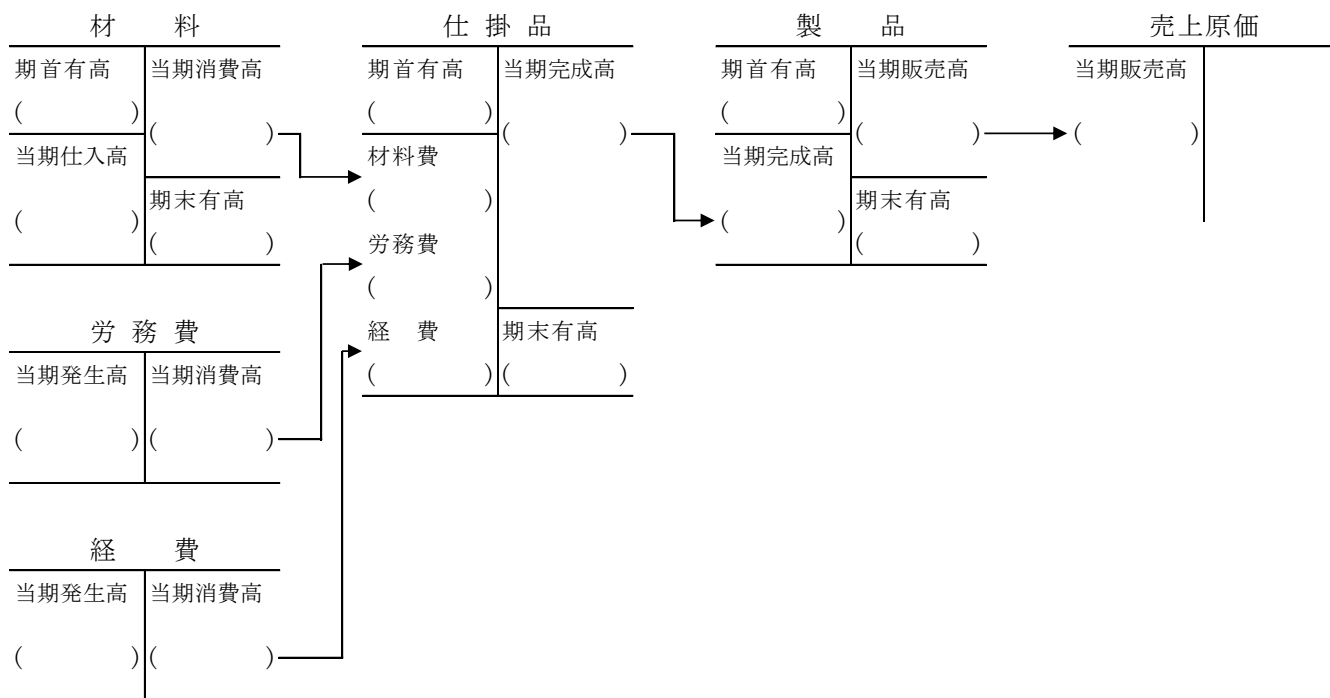


# 工業簿記の基本 第1問 問題

次の資料にもとづいて、勘定連絡図の( )内に適切な金額を記入し完成させなさい。さらに、製造原価報告書、損益計算書(一部)、貸借対照表(一部)を完成しなさい。

(資料)

- |               |          |              |          |
|---------------|----------|--------------|----------|
| ① 材料期首有高      | 2,000 円  | ⑥ 経費当期発生・消費高 | 18,000 円 |
| ② 仕掛品期首有高     | 5,000 円  | ⑦ 材料期末有高     | 4,000 円  |
| ③ 製品期首有高      | 20,000 円 | ⑧ 仕掛品期末有高    | 9,000 円  |
| ④ 材料当期仕入高     | 38,000 円 | ⑨ 製品期末有高     | 30,000 円 |
| ⑤ 労務費当期発生・消費高 | 30,000 円 |              |          |



製造原価報告書

(単位：円)

I 材料費		
1 期首材料棚卸高	( )	
2 当期材料仕入高	( )	
合計	( )	
3 期末材料棚卸高	( )	( )
II 労務費		( )
III 経費		( )
当期総製造費用		( )
期首仕掛品原価		( )
合計		( )
期末仕掛品原価		( )
当期製品製造原価		( )

損益計算書 (一部)

(単位：円)

I 売上高		200,000
II 売上原価		
1 期首製品棚卸高	( )	
2 当期製品製造原価	( )	
合計	( )	
3 期末製品棚卸高	( )	( )
売上総利益		( )

貸借対照表 (一部)

(単位：円)

I 流動資産	
：	
製品	( )
仕掛品	( )
材料	( )

# 工業簿記の基本 第1問 模範解答

材 料		仕 掛 品		製 品		売上原価	
期首有高 ( 2,000 )	当期消費高 ( 36,000 )	期首有高 ( 5,000 )	当期完成高 ( 80,000 )	期首有高 ( 20,000 )	当期販売高 ( 70,000 )	当期販売高 ( 70,000 )	
当期仕入高 ( 38,000 )	期末有高 ( 4,000 )	材料費 ( 36,000 )		当期完成高 ( 80,000 )	期末有高 ( 30,000 )		
労 務 費		労務費 ( 30,000 )					
当期発生高 ( 30,000 )	当期消費高 ( 30,000 )	経 費 ( 18,000 )	期末有高 ( 9,000 )				
経 費							
当期発生高 ( 18,000 )	当期消費高 ( 18,000 )						

## 製造原価報告書

(単位：円)

I 材 料 費				
1 期首材料棚卸高	( 2,000 )			
2 当期材料仕入高	( 38,000 )			
合 計	( 40,000 )			
3 期末材料棚卸高	( 4,000 )		( 36,000 )	
II 労 務 費			( 30,000 )	
III 経 費			( 18,000 )	
当期総製造費用			( 84,000 )	
期首仕掛品原価			( 5,000 )	
合 計			( 89,000 )	
期末仕掛品原価			( 9,000 )	
当期製品製造原価			( 80,000 )	

## 損益計算書 (一部)

(単位：円)

I 売 上 高				
II 売上原価				200,000
1 期首製品棚卸高	( 20,000 )			
2 当期製品製造原価	( 80,000 )			
合 計	( 100,000 )			
3 期末製品棚卸高	( 30,000 )		( 70,000 )	
売上総利益			( 130,000 )	

## 貸借対照表 (一部)

(単位：円)

I 流動資産	
:	
製 品	( 30,000 )
仕 掛 品	( 9,000 )
材 料	( 4,000 )

## 【解説】

### 勘定連絡図

資料①～⑨までの金額を勘定連絡図に記入する。材料、労務費、経費の当期消費額を、仕掛品勘定の借方へ計上し、仕掛品勘定の当期完成高を貸借差額で求める。さらにそれを製品勘定の借方へ持っていき、製品勘定の当期販売高を貸借差額で求め、それを売上原価勘定へ持っていく。

### 製造原価報告書

製造原価報告書は、この勘定連絡図の仕掛品勘定をまとめた表である。

製造原価報告書の「Ⅰ材料費」は、勘定連絡図の材料勘定に記載されている金額を記入する。「Ⅱ労務費」と「Ⅲ経費」の金額は、労務費勘定と経費勘定の当期消費高を記入する。この3つを合計したものが、当期総製造費用であり、仕掛品勘定の借方に集計された金額と一致する。この合計額に仕掛品勘定の期首有高を加算し、期末有高を減算すると当期完成高 80,000 円を計算することができる。これが製造原価報告書の末尾の当期製品製造原価である。

### 損益計算書

損益計算書の「Ⅱ売上原価」は、製品勘定に記載されている金額を記入する。売上原価を記入したら、売上高 200,000 円（解答用紙にあらかじめ記入されている）から差し引くことで、売上総利益を計算することができる。

### 貸借対照表

貸借対照表の流動資産には、製品勘定、仕掛品勘定、材料勘定の期末有高の金額を記入する。